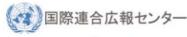
STAND UP TAKE ACTION (スタンド・アップ テイク・アクション) 2014

主催:動く→動かす

協力:国際連合広報センター(UNIC)



なんとかしなきゃ! プロジェクト



後援:外務省、公益社団法人ガールスカウト日本連盟、教育協力 NGO ネットワーク、一般社団法人グローバル・コンパクト・ジャパン・ネットワーク、独立行政法人国際協力機構(JICA)、公益財団法人世界宗教者平和会議(WCRP)日本委員会、公益財団法人日本ユニセフ協会、日本労働組合総連合会(連合)、パルシステム生活協同組合連合会、公益財団法人ボーイスカウト日本連盟

助成:日蓮宗あんのん基金、立正佼成会一食平和基金、連合・ 愛のカンパ

2014年 特別にご協力いただいた方々

●フォトコンテスト (受賞作品は、以下の方々の厳正な審査によって選ばれました。)

特別審査員:今岡昌子氏(写真家)

審査員 (「動く→動かす」加盟団体有志): (特活) アフリカ日本協議会/(特活) ウォーターエイドジャパン/(特活) WE21 ジャパン/(特活) 開発教育協会/(特活) 関西国際交流団体協議会/(特活) グッドネーバーズ・ジャパン/(特活) 国際協力 NGO センター/(特活) シェア=国際保健協力市民の会/(公社) セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン/(公社) 日本国際民間協力会/ほっとけない熊本プロジェクト/(特活) ピープルズ・ホープ・ジャパン/(特活) ブリッジ エーシア ジャパン/(特活) 横浜 NGO 連絡会

- ●応援メッセージ: 道端ジェシカ氏(モデル)/玉城ちはる氏(シンガーソングライター)
- ●スライドショーテーマソング: etsuco 氏 (シンガーソングライター)

これまでスタンド・アップにご参加いただいた団体

【学校教育関連機関】石狩市立厚田中学校/伊那東小学校/岩手県立大槌高等学校/宇都宮大学/桜美林大学/大阪教育大学附属高等学校池田校舎/大阪女学院大学/大阪府立阿武野高等学校/大阪府立生野高校/大阪府立佐野高等学校/沖縄キリスト教学院大学/沖縄尚学高等学校/学習院女子大学/片山学園中学校/神奈川県立川和高校/神奈川大学/神奈川朝鮮学園/金沢市立泉野図書館/関西学院大学/関西学院中学部/関東学院大学/京都学園中学高等学校/京都府立東稜高等学校/近畿大学/敬愛大学/啓明学園/甲賀市立甲南中学校/甲賀市立信楽小学校/神戸市立六甲アイランド高等学校/国際医療福祉大学/相模原中等教育学校/滋賀学園中学校/島根大学/昭和女子大学/上智大学/成蹊大学/西南学院大学/洗足学園/仙台二華高校/拓殖大学/玉川大学/中央大学/筑波大学/帝塚山学院高等学校/東京国際大学/東京都立町田高校/同志社中学校/東北大学附属図書館/東洋大学/長崎大学/名古屋市立大学/日本大学/日本大学国連寄託図書館/兵庫県立尼崎小田高校/広島市国連寄託図書館/フェリス女学院大学/福井県立大学/藤沢総合高校/不二聖心女子学院/文京学院大学/文教大学/保育園ViVi.おひさまっこ保育園/法政大学/北海道大学附属図書館/国連寄託図書館/北海道文教大学/松山市立小野中学校/都城市立五十市中学校/武蔵野大学/明治学院大学/横浜市立大学/横浜集人高等学校/横浜雙葉高等学校/四日市市立四郷小学校/米沢市立第二中学校/立命館大学/早稲田大学

【民間団体】会津若松市国際交流協会/(公財)青森県国際交流協会/市村自然塾関東/(公財)岩手県国際交流協会/延立寺/(公財)大分県文化スポーツ振興財団/(一社)大阪青年会議所/(一財)岡山県国際交流協会/(一社)鬼ごっこ協会/(公社)神奈川県宅地建物取引業協会/工藤愛子ヨガ教室/サニーサイドゴスペルクラブ/(一財)自治体国際化協会市民国際プラザ/(公財)仙台国際交流協会/天真寺/東燃ゼネラルグループ労働組合/(公財)長崎県国際交流協会/新潟国際ボランティアセンター/日蓮宗上原寺/日蓮宗妙壽寺/日本化学エネルギー産業労働組合連合会/日本聖公会聖アンデレ教会/日本福音ルーテル賀茂川教会/(一社)桧垣バレエ団/丸岡ロータリークラブ/三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」/YMCA(北海道・熊本)

【企業】(株) 朝日新聞社/アミタホールディングス(株) / 英治出版(株) / NEC ソフト(株) (現在は NEC ソリューションイノベータ(株)) / 大分東洋ホテル/オリンパス(株) / (株) カモメプランニング/(株) シーズクリエイト/(株) シマンテック/大和リース(株) / ティンバーランド ジャパン(株) / (株) 電通/東都クリエート(株) / (株) 栃木屋/日本写真印刷(株) / (株) ノーリツ/(株) 博報堂/迫リコー(株) / ピープル・ツリー / グローバル・ヴィレッジ/富士通(株) / (株) 街波通信社/道の駅にしかた/(株) ラッシュジャパン/(株) リコー/リコーインダストリー(株) / リコーインダストリアルソリューションズ(株) / リコーエレメックス(株) / リコークリエイティブサービス(株) / リコー光学(株) / (株) リコーサービスパーツセンター/リコージャパン(株) / (株) リコー中央研究所/リコーテクノロジーズ(株) / リコーリース(株) / Y.B.Road

*このほかにも多数の方々にご参加いただきました。



「動く→動かす」とは?

ひとりの「動く」が集まれば、大きな うねりとなってやがて世界を動かし ます。 意志をもって行動することで、

世界を少しずつ変えることができるのです。そんな想いを込めた民間非営利団体「動く→動かす」は、2009年に発足した国際協力 NGO のネットワークです。2015年1月現在、74団体が加盟しています。また私たちは、ミレニアム開発目標 (MDGs)を達成して貧困問題を解決するために結成された世界に広がる市民社会ネットワーク「貧困をなくすためのグローバル・コール (GCAP)」において、日本の代表団体として活動しています。

STAND UP TAKE ACTION 活動報告書2014

[発行] 動く→動かす

〒 110-0015

東京都台東区東上野 1-20-6 丸幸ビル3階 株字非常利活動法 1-7711カロ本格議会 気信

http://www.facebook.com/UgokuUgokasu

http://www.standup2015.jp



世界は変わる、私たちが動けば

2014年8月19日

ミレニアム開発目標 (MDGs) 達成までに残された時間が500日となった日 ツイッターやフェイスブックなどでは

この限られた時間を知らせる多くのツイートや投稿がありました。

2000年に世界が合意した貧困解決のための目標MDGsができたことにより 先進国、途上国を問わず、政府、市民社会、コミュニティ、企業、

そして国連や国際機関もひとつの方向に向かって取り組むという 大きな流れができました。

この流れを強力に後押しするために

政府に対して目標達成に向けた行動を求める市民の声となってきたのが 10月17日の世界反貧困デーの時期に行われてきた

STAND UP TAKE ACTION (スタンド・アップ) です。

2006年に世界中で始まったこのキャンペーンも

2014年の日本での活動が最後となり

この9年間で日本では、24万人以上の人々が立ち上がりました。

しかし、貧困問題解決はまだ道半ばです。

MDGsは、達成された目標、達成見込みの目標もありますが

多くの目標は達成が厳しい状況です。

そして現在、先進国も対象とした新たな国際開発目標が

MDGsの後継目標として議論され、2015年9月には決定されます。

スタンド・アップの終わりは

世界だけでなく、日本の貧困問題の解決も含めた 新たな行動への始まりと呼びかけです。

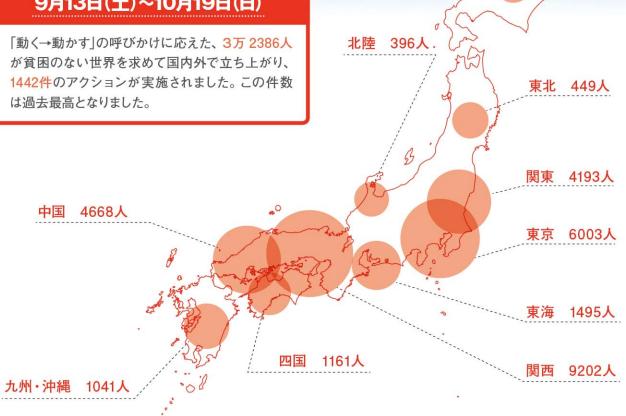
残り時間もわずかとなったMDGsを少しでも前進させ



スタンド・アップ

9月13日(土)~10月19日(日)

「動く→動かす」の呼びかけに応えた、3万 2386人 が貧困のない世界を求めて国内外で立ち上がり、 1442件のアクションが実施されました。この件数 は過去最高となりました。



北海道 706人

日本国内 2万9314人/1378件

海外 3072人/64件

スタンド・アップの写真はウェブサイトでご覧いただけます。www.standup2015.jp

海外からスタンド・アップ!



チェンマイ (タイ) のHIV/エイズ予防教育の ミーティングにて (ピープルズ・ホープ・ジャ

the border)



オーストラリアのコミックイベントで (Over 格差著しい南アフリカ共和国のヨハネスブ ルグにて (AMANDLA!)



フィリピンのスモーキーマウンテン近隣 バングラデシュに着任したJICAボランティ 海外連帯ボランティア派遣 (フィリピン)の アのみなさんで(JICAバングラデシュ事務



訪問先で(JEC連合:日本化学エネルギー



が参加(ハンガー・フリー・ワールド・ブルキ ナファソ支部)



ブルキナファソのワムテンガ村から小学生 米国サウスウエスト・ミズリー大学のバレー ボールサークルのメンバーで (オックスファム・ ジャパン スタンド・アップ for GROW参加者)

特別審査員賞



学んだことを実践に

私たちの持つ力で、少しでも世界を笑顔にできたのであればとてもうれ しいです。「地球学」という、知的好奇心と国際理解の精神を伸ばし育 てることを目的とした独自の授業で学んできました。授業では、地域理 解から世界の問題まで、調べたり考えたり、そして行動する取り組みも 行ってきました。さまざまな取り組みを通して、自分にできることを考え、 社会貢献していけるよう学び続けます。

京都学園中学高等学校(京都府)



スマイル&ジャンプ!

子どもたちに、世界にある貧困の意味を知って もらい、できることを考えるきっかけになればと 思い参加しました。生まれた場所に関係なく、子 どもは平等に幸せになる権利があると思います が、そうでない子どもが多くいることには本当に 胸を締め付けられる思いです。娘はまだ4歳に なったばかりですが、いつかこの写真をきっかけ に、自分にできることを考えてくれたら、と思って

チーム ハナ (東京都)



チャリティーをポップに、世界をひとつに

マイケル・ジャクソンのファンの仲間がつながり、2010年か ら「チャリティーをポップに」の下に、イベント出演やESD(持 続可能な開発のための教育)、震災復興支援などの活動をし ています。今回は パイオニアさん主催の聴覚障がい者の為 のコンサート「身体で聴こう音楽会」に出演させていただきま した。これからもマイケルの歌とダンスを通して世界中の人々 が繋がる、より良い地球作りを考えていきます。

アースデイ with マイケル (神奈川県)

ユニーク賞



カラフルな個性を

「人権と社会正義の達成」「世界の貧困解決」。ソーシャル ワーク(社会福祉実践)を学び始めたばかりの社会福祉学科 1年生の私たちにとっては、とても大きな目標です。一人では 立ち向かえない大きな目標だからこそ、一人一人の個性という 色を大切にして、「希望の虹」のスタンド・アップを表現しまし た。それぞれの目標をめざして、ゆっくりと着実にみんなで立 ち上がり、達成していきたいと思います。

福井県立大学社会福祉学科1年生(福井県)



"涙"から"笑顔"へ

今回の写真は、体育祭で行われた平和行進のものです。その 時の生徒会長の平和宣言に、「私の笑顔で誰かが笑顔にな り、その誰かの笑顔でまた違う誰かが笑顔になる~」という 言葉がありました。実はこの写真の直前には「泣き顔」もあ り、それがこのように「笑顔」になりました。そこには「一人でも 多くの人の顔を、"涙"から"笑顔"へ変えたい」という思いが こめられています。

甲賀市立甲南中学校 (滋賀県)



つながりの赤いリボン

私達は高校3年生で、この写真を撮った10月も受験勉強で忙 しい毎日でした。そんな時、母からこの話を聞き、これなら今 の私たちにもできるのではないかと思い、参加を決めました。 急な呼びかけにもかかわらず協力してくれたクラスメートや担 任の先生には本当に感謝しています。限られた時間の中で 一本の赤いリボンに想いを込めた今回の運動は、受験一色 だった私たちの視野を広げてくれました。

大阪府立生野高校3-5(大阪府)

ご当地賞



......

ひょうごっ子、立ち上がる

ガールスカウトでは、MDGsについて学び、地域に影響を与えて いる問題に対して行動を促すように、MDGsの目標とつながった GAT (グローバルアクションテーマ) 「一緒になら、この世界を変 えられる を通じて取り組んでいます。今回は、地域の人々との交 流を通じてふるさとを大切にする心を育む「ひょうごっ子・ふるさ と塾 "あつまれ ひょうごっ子"」の機会に、姫路城前でのスタン ド・アップとなりました。

ガールスカウト兵庫県連盟(兵庫県)



定期訓練日に

自警団から改組し、昭和26年から続く西宮市消防 団。段上消防団は20名で、三世代、四世代と活動 している家庭もあります。阪神・淡路大震災では西 宮市も大変な被害を受け、団員は被災しながらも救 助活動にあたりました。普段は防災の広報活動、地 域イベントの警備、有事に備えての訓練を行ってい ます。全員仕事を持ちながらの活動で大変ですが、 地域社会の安心・安全と世界平和を想い今後も活 動を続けます。

西宮市段上消防団 (兵庫県)



海に沈んだままの歴史

初めてのサイバンの海。戦時中の船や飛行機、銃 弾までもが海の中にたくさん残っている現状に驚 きました。ガイドの解説から、当時の過酷な様子が 生々しく思い浮かびましたが、今日の命の危険にお びえることなく友人たちと過ごせる穏やかな日々の ありがたさを再認識しました。今後も海に眠る方た ちを思い、彼らが命がけで守りたかったであろう家 族や友人と過ごす穏やかな日常の奇跡をかみしめ て過ごしたいと思います。

アルファプラス AandJ @ サイパン (サイパン)



過去から未来へ

私たちの学校はユネスコスクールに加盟しており、生徒は 「持続可能な開発のための教育 (ESD)」を通じ、世界の問 題について学んでいます。今後も理解を深め、貧困解決に向 けて新たな一歩を踏み出したいと思っています。写っている列 は、過去から現在までの貧困解決への軌跡を表します。過 去が遠くに見えますが、実は意外と近いもの。2014年までた どってきたその道は、まだまだ先の続く道。写真の前のあな た、さあ、Let's TAKE ACTION!

大阪教育大学附属高等学校池田校舎(大阪府)

......



ハートに訴えかけるため

東京国際大学では2006年より毎年参加しています。今年は、本学提携 校である新モンゴル高校の学生と参加しました。「世界の心臓部である 世界のリーダーたちに、愛で包まれる社会を作ってほしい」をテーマとし、 ハートの形で表しました。私たちは日本やモンゴルだけでなく地球市民と いう意識を持ち、考え、話し合い、伝え合って貧困をとめるためにこれから も協力して自分たちにできることをアクションしていきます。

> 東京国際大学国際関係学部学生有志& 新モンゴル高校学生有志(埼玉県&モンゴル)

※各受賞者の言葉はスペースの都合上短く 簡潔にまとめた要約版です。完全版は、スタ ンド・アップ ウェブサイト中央の「【フォトコ ンテスト受賞作品決定!】」の部分をクリック してください。

http://www.standup2015.jp

......

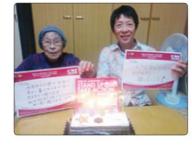


希望を持ってスタンド・アップ!

<祖母より>一人の力は小さいと思って いましたが、赤ちゃんの生きようとする 力、赤ちゃんを愛し育もうとする力はと てつもなく大きくて尊いと実感していま

<母より>子どもの名前は朝(あさ)。イ ンドやフィリピンなどアジア地域の言語 で「希望」という意味があります。子ども が生まれてから、希望の持てる未来を残 したい、希望を持って生きていきたいと いう思いがより一層強くなりました。

希望家族(神奈川県)



伊勢さん96歳の誕生日

<伊勢さん>最近の世の中の動きが大 変心配です。戦争は決してしてはいけな いと思います。若い人たちもよく考えて ほしいと思います。選挙には必ず行って ください。若い方達へ。

<娘>様々な集会では同世代(60代) が多数で、若い人が少ないことがとても 不安ですが、スタンド・アップでは若い人 が多く希望を感じます。

<孫>今回は家族で改めて世界の問題 について話す機会になりました。伊勢さ んという戦争の時代の生き証人がいる ありがたさも実感しました。

伊勢さんと家族 (東京都)

そのほかの日本各地でもスタンド・アップ!



ン スタンド・アップ for GROW参加者)



国際交流フェスティバル2014を支えたボ ランティアのみなさんで参加 (会津若松市 国際交流協会)



北海道の牧場から(オックスファム・ジャパ 江戸時代米沢藩(山形県)では貧困対策 で食用にもなっていたウコギの垣根の前で (チームもとしげ)



国内の貧困問題解決のための集会の最 後にみんなでスタンド・アップ (反貧困全 国集会2014参加者有志)



かた新米祭り」にて(道の駅にしかた)



中根一幸・外務大臣政務官と外務省職員 の方々が、外務省前でスタンド・アップ (外 務省)



環境省選定の「残した い日本の音風景100 選」に選ばれた「時の 鐘」の前で(かわごえ 国際交流フェスタ会場 視察チーム)



サッカーのサンフレッチェ広島の試合前 に4000人でスタンド・アップ (JICA中国× なんとかしなきゃ!プロジェクト)

主催・共催イベント

■8/24 トイレから始めるより良い世界-MDGs達成期限まで500日で何ができるのか



MDGs達成までに残された時間が500日となったことを広く知らせ、私たちに残された幅広い課題についてトイレを通 じて考えるイベントを、東京の日本科学未来館で行いました。加藤篤さん(日本トイレ研究所)、森裕介さん(日本国 際民間協力会)、田中雅子さん(上智大学)、吉森悠さん(シェア=国際保健協力市民の会)、高橋郁さん(ウォーター エイドジャパン) にお越しいただき、日本のトイレ、マラウィの村の生活とエコサントイレ、女性とトイレ、東チモールの 子どもの健康と衛生、トイレがない人々の現状に関してお話しいただきました。

■10/4 シンポジウム 「ポストMDGsの今が分かる!」



ポストMDGsの最新情報と、多様なセクターからの意見を共有し、ポストMDGsの方向性を考えていくためのシンポジ ウムを行いました。第1部では、大菅岳史さん(外務省)、星野智子さん(環境バートナーシップ会議)、当会の稲場雅 紀より、国連総会関連の報告がありました。第2部では、赤堀久美子さん(リコー)、森秀行さん(地球環境戦略研究 機関)、吉村翔平さん(日本国際保健医療学会・学生部会)、曽田夏記さん(国際協力機構)、浅村里紗さん(ジョイ セフ)、井田徹治さん(共同通信社)にご登壇いただき、それぞれの立場と専門から、ポストMDGsのあり方や期待、課 題についてお話しいただきました。

■10/13 STAND UP TAKE ACTION 「渋谷パレード2014 一緒に歩こう! 貧困・格差のない世界をめざして」



さまざまなセクター/分野における国内外の課題や問題を発信して一般の人々に広く知らせるとともに、政府に対して 問題解決の取り組みを求めるため、国連大学前での集会と渋谷をパレードする企画を計画しました。ただ残念なこと に、パレードは台風の影響で中止となってしまいました。集会は、音楽とパフォーマンスで国際協力活動を行っている 2つのグループ [GOSPEL SQUARE with Shanita] と [アースデイwithマイケル] のパフォーマンスから始まり、その 後に近藤哲生さん(国連開発計画)、雨宮処凛さん(作家・活動家)、ソニー・ウチェ・ウニグエさん(ナイジェリア国立 大学附属病院感染症内科医、エヌグ州エボラ出血熱感染予防トレーナー)、根本かおるさん (国連広報センター) か ら、MDGsの現状、ポストMDGsの重要性、日本やナイジェリアの貧困問題の現実についてお話しいただきました。

SHOBI DANCE CREW / HIPHOPダンスショー×STAND UP TAKE ACTION ★ラスト・キャンペーン★(よこはま国際フェスタ2014)



スタンド・アップの最終日となった19日、フィナーレを飾るステージをよこはま国際フェスタ2014にて行いました。ス テージは、幅広い方の関心を集めるため、尚美ミュージックカレッジのダンスクルー50人によるSTAND UPをテーマ にしたヒップホップのダンスから始まりました。その後は、「動く→動かす」とよこはま国際フェスタの大学生インター ン(写真)によるMDGsとスタンド・アップに関する講演と、身近な国際協力を行う呼びかけが行われました。

■11/16 清水寺から世界へ!~思いやりの心と平和の輪~



昨年に続き、今年も京都のNGO、中学校、高校、バレエ団と一緒に、清水寺を訪れる参拝者の方々に途上国の現状と 身近なところからできることについて考えていただくイベントを行いました。今年は「思いやり」がテーマで、高校生によ る弾き語りや中学生による柔道の演武、そしてバレエの演目にもそれが工夫され表現されていました。「動く→動かす」 は、ポスト2015年開発目標策定に向けて国連が実施しているMY WORLDというアンケートを京都のガールスカウト の方々にお手伝いいただきながら実施し、163人から回答をいただきました。そして最後に、action/2015の横断幕も 掲げながらスタンド・アップを行いました。



これは、地域のネットワークを広げるためのイベントを「動く→動かす」が支 援し、スタンド・アップやMDGs/ポストMDGsの普及と地域における国際協 力の広がりを目指す事業です。今年三重では、三重県ユニセフ協会、三重県 男女共同参画センター「フレンテみえ」、ケア・インターナショナル ジャパン が共催でイベントを行い、女性と子どもに関して地域で活動する人々の新たな ネットワーク作りの機会となりました。福岡では、NGO福岡ネットワークが普 段はつながりのない九州の他の地域から講師を招き、新規のイベント参加者 を開拓してつながりを作りました。そのほかにも熊本YMCA、長崎大学、オッ クスファム・ジャパンのユースチームの協力を得てイベントを行い、参加者に はスタンド・アップにも参加していただきました。



ミレニアム開発目標=2000年に定められた開発途上国を対象とした目標

基礎知識:国際開発目標とは



2000年9月に開かれた国連ミレニアムサミットを経て、それまでに定められていた国際開発目標を集約して制定されたのがミ レニアム開発目標 (MDGs: Millennium Development Goals) です。開発途上国の問題を解決するために、貧困とそれにま つわる問題をターゲットとして取りあげ、具体的な数値目標と2015年という達成期限を定めたものです。8つの目標と、より 具体的な21の目標、そして達成度を測る60の指標が定められています。



とてつもない貧困と 飢えをなくそう

子どもの死亡率を



女性が健康な状態で妊娠し、 子どもを産めるようにしよう

みんなが小学校に

通えるようにしよう



HIV/エイズ、マラリア、 その他の病気が広がるのを防ごう

ジェンダーの平等を進めて

女性の地位を向上させよう



*MDGのロゴは、「(特活) ほっとけない 世界のまずしさ」が作成したものです。

環境の持続可能性 を確保しよう

世界の一員として、 先進国「も」責任を果たそう

ポスト2015年開発目標=2016年からスタートする先進国も対象とした目標

ポスト2015年開発目標 (ポスト2015) は、MDGsの後継目標で、ポストMDGs、SDGs (持続可能な開発目標) などとも呼ばれており、正式 名称はまだ決まっていません。2015年は下記の17目標をもとに国家間での交渉が行われ、9月の国連総会で決定される予定です。この17 目標には、先進国にも関連する169のターゲットが提案されており、例えば貧困と格差、ディーセント・ワーク(働きがいのある人間らしい仕 事)、持続可能な生産と消費、エネルギーなど日本にも深く関係するターゲットが含まれています。

持続可能な開発目標(SDGs) に関するオープン・ワーキング・グループが提案した17の目標

目標1 あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる

目標2 飢餓を終わらせ、食糧安全保障および栄養改善を実現し、持続可 能な農業を促進する

目標3 あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促 進する

目標4 すべての人々への包括的かつ公平な質の高い教育を提供し、生涯 学習の機会を促進する

目標5 ジェンダー平等を達成し、すべての女性および女子のエンパワー メントを行う

目標6 すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する

目標7 すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な現代的エネル ギーへのアクセスを確保する

目標8 包括的かつ持続可能な経済成長、およびすべての人々の完全かつ 生産的な雇用とディーセント・ワーク (適切な雇用) を促進する

目標9 レジリエントなインフラ構築、包括的かつ持続可能な産業化の促 進、およびイノベーションの拡大を図る

目標 10 各国内および各国間の不平等を是正する

目標 11 包括的で安全かつレジリエントで持続可能な都市および人間居 住を実現する

目標 12 持続可能な生産消費形態を確保する

目標 13 気候変動およびその影響を軽減するための緊急対策を講じる (国連気候変動枠組条約(UNFCCC)が、気候変動への世界的 対応について交渉を行う一義的な国際的、政府間対話の場で あると認識している。)

目標 14 持続可能な開発のために海洋資源を保全し、持続的に利用する

目標 15 陸域生態系の保護・回復・持続可能な利用の推進、森林の持 続可能な管理、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・ 防止および生物多様性の損失の阻止を促進する

目標 16 持続可能な開発のための平和で包括的な社会の促進、すべて の人々への司法へのアクセス提供、およびあらゆるレベルにお いて効果的で説明責任のある包括的な制度の構築を図る

目標 17 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パー トナーシップを活性化する

(原文は英語、公益財団法人地球環境戦略研究機関の仮訳より)

私達は「動く→動かす」メンバーです 関心は貧困と格差の解消! アクション2015を応援します action/2015 Japan

ポスト2015に向けて新たな世界的キャンペーンがスタート

スタンド・アップの終了とともに世界では、action/2015というキャンペーンが始まりました。これは、ポスト2015と 12月に決まる気候変動への取り組みが、問題解決に真に有効なものになるよう世界各国政府にそれぞれの国の市 民が声を上げて働きかけるキャンペーンです。日本では、アドボカシー・フォトで意志を表し、写真と一緒に投稿する 課題を集計して日本政府に届けるキャンペーンを行っています。次の世代により良い未来を残せるよう、ぜひご参加 ください。

詳しくは、「動く→動かす」 ウェブサイトにあるaction/2015 Japanのロゴをクリックしてご覧ください。

http://www.ugokuugokasu.jp

歴 史



2006年 世界2354万2614人 日本2711人

006年に始まったスタンド・アップは、10月 17日の世界反貧困デーの頃に行われ、 世界一大きな同時アクションとして2009年まで毎年ギネ ス記録を更新してきました。2010年は9月の国連レビュー サミット前に実施され、2011年からは各国が状況に合わせ て時期や期間を決めて行われるようになりました。



2007年 世界4371万6440人 日本4万8205人



世界1億1699万3629人 日本2万2698人



2009年 世界1億7304万5325人 日本3万3497人



2010年 5年に一度の「国連MDGsレ ビュー・サミット」直前に世界 74ヵ国でアクション実施。日 本では1万8240人が参加。



日本3万1389人(海外・そ の他含め3万3101人)



日本2万6563人(海外・そ の他含め2万9614人)



日本3万2600人(海外・そ の他含め3万4879人)



日本2万9314人 (海外・そ の他含め3万2386人)

スタンド・アップ参加の流

1. 集まる

まずは集まって、立ち上 がる意義をみんなで共 有しよう。



Stand Up

2. 立ち上がる

かけ声とともに立ち 上がると、元気が 出ます!

3. ポーズをきめ 写真を撮る

その一コマが力になります。



参加した あなた

4. 報告する

参加人数等をホームページから 報告してください。全国からの 想いを日本政府に届けます。

MDGsの達成状況

スタンド・アップが後押ししてきたMDGsの達成ですが、 期限まで1年を切った今、どんな状況になっているのでしょうか。

目標 1: とてつもない貧困と飢えをなくそう

ターゲット1.A:2015年までに1日1.25ドル未満で生活する人口の割合を1990年の水準の半数に減少させる。

1990年には涂上国の人口の47%が1.25ドル未満で生活していたが、2010年には22%に減少した。

達成! ただし、中国を除くと1990年が41%で、2010年には26%への減少で半減にはならず、他の地域での状況が厳しいこ

とがうかがえる。

目標 3:ジェンダーの平等を進めて女性の地位を向上させよう

ターゲット3.A:可能な限り2005年までに、初等・中等教育における男女格差を解消し、2015年までに全ての教育レベルにおけ る男女格差を解消する。

■1990年から2012年の間に、各教育レベルでの男子と女子の割合は次のように変化し、誤差を考えればほぼ1対1と 言って良い状況となった。 初等教育 0.86→0.97 中等教育 0.77→0.96 高等教育 0.69→0.99

目標 7:環境の持続可能性を確保しよう

ターゲット7.C:2015年までに、安全な飲料水及び衛生施設を継続的に利用できない人々の割合を半減する。

安全な飲料水を入手できる改良された水源を利用可能な人々の割合は、1990年の76%から 2012年には89%へと増加した。

トイレに関しては、49%から64%と利用な可能な人数は増加しているが、目標の75%の達成は難しく、現在改善された衛生的 な、トイレを利用できない人は25億人に上る。

目標 1: とてつもない貧困と飢えをなくそう

ターゲット1.C:2015年までに飢餓に苦しむ人口の割合を1990年の水準の半数に減少させる。。

もう一歩! 栄養不良に苦しむ人々の割合は、1990-1992年の24%から2011-2013年には14%に減少した。

目標 3:ジェンダーの平等を進めて女性の地位を向上させよう

女性の国会議員の人数

Take Action

5. 行動する

立ち上がり、一歩前へ。

貧困を終わらせるために、

あなたは何を

しますか?

2014年1月時点で、女性が1つの院内で国会議員の30%以上を占めている国は世界に46カ国あり、女性の政 ■ 治参加は増え続けている。また、官僚級、大臣級のポストに就く女性も増えている。

目標 6: HIV/ エイズ、マラリア、その他の病気が広がるのを防ごう

ターゲット6.B: 2010年までにHIV/エイズの治療への普遍的アクセスを実現する。

| HIV感染者のための抗レトロウイルス療法の普及が進み、開発途上地域では950万人 (2012年) が治療を受け ることができた。また、この抗レトロウイルス療法は、1995年以来660万人の命を救った。

ターゲット6.C:マラリア及びその他の主要な疾病の発生を2015年までに食い止め、その後発生率を減少させる。

2000年から2012年の間にマラリア対策が大幅に拡大され、約330万人の人々の命が救われた。そのうちの 300万人はサハラ以南のアフリカに暮らす5歳未満の子どもたちであった。

*世界で起きていることを周りの人々に伝えます。 *SNSで情報を発信します。

> *会社の社会貢献活動や仕事を通じて 途上国に貢献します。 *フェアトレード商品を購入します。

*ボランティア活動を行います。

*趣味を通じて募金集めに協力し

*バスに乗る分を歩いてバス代を募

*NGOの講演会やイベントに参加しま

動く→動かすは、

スタンド・アップ

日本政府へ

届けました。

参加者の声を

阿部俊子・外務大臣政務官に 2012 年の報告(2013年6月10日)



藤田幸久・財務副大臣に 2011 年の



石原宏高・外務大臣政務官に 2013 年の報告(2013年12月3日)

スタンド・アップに参加して~考えたこと・変わったこと

途上国の子ども達の困難な状況

を知り、自分が恵まれていると

感じ、状況改善に何か自分にで

国内約3万数千人の人々が、MDGs

達成に向け貧困撲滅に一緒に声を

あげ、和(輪)が築かれたことに感動。

ていただきました。

(特活) 関西国際交流団体協議会

自分たちの小さな写真でも、何かの

力になれるんだなということがわかり

ました。メンバー一同楽しく参加させ

関西学院は、スタンド・アップと

ミレニアム開発目標のおかげで、

貧困とアドボカシーを課題として

取り入れていくことができました。

子どもは生まれる環境を誰も選べません。

子どもたちの笑顔と未来のために、出来

ることを香川の地から発信していきます。

大阪府

沖縄尚学高等学校

生徒会執行部 沖縄県

関西学院 兵庫県

昭和女子大学人間文化学部

国際学科1年有志 東京都

きないか考えた。

誰でも気軽にできるアクションが 魅力的、いろんな人とつながったと 実感、貧困がなくなることを願って います。

井上 団 東京都

2010年から5回参加。これを 機に視野が広がり年ごとに、 皆の結束力が高まり、舞台創 造にも役立ちました。感謝!!

一般社団法人 桧垣バレエ団

小西 裕紀子 京都府

SUTAはアクションが明確で成果が 見えやすく、組織全体で取り組みやす かったため、連帯感が高まりました。

(特活) ハンガー・フリー・ワールド 東京都

「世界市民」という意識をもって、責 任意識を共有して、世界の諸問題に 取り組んでまいりたい。

創価学会青年平和会議 東京都

授業で始めた活動が、バザーでの イベントとなり、地域にいながら も世界の人々と協働で取り組める 国際協力活動となっていました。

> (公財) 北海道 YMCA 佐藤 雅一 北海道

「仲間を増やすこと」が大切かな と思い、折に触れ自然に語って

いく'ことを心がけています。

大野 正子 東京都

世界中の人が安心して暮らせる日 が一日も早く来ますよう祈ります。 皆様の運動を応援いたします。

一色 伊勢 東京都

香川県ユニセフ協会 香川県

「何をしたってどうせ変わらない」から「自 分にできることからとにかく始めなきゃ! に変わりました。

青井 隼人 神奈川県

毎年 WE ショップでアピールし、市内の団 体にも参加を呼びかけた。子どもたちの参 加もうれしかったが、貧困や戦禍で生きる 苦しさを知る機会は重かった。

> (認定) WE21 ジャパンひらつか 重田 神奈川県

世界の一員として、自分にできるこ とを考え、小さなことでも行動し 続けることの大切さを学ぶ機会と なりました。

> ガールスカウト静岡県第93団 静岡県

最後となった年に「ご当地賞」に入賞 し、皆で喜びあえた事、また何かに 挑戦したいと思えた事が良かった。

(一社) ガールスカウト兵庫県連盟 秋永 圭子 兵庫県

日曜日の主日礼拝では子ども達と大人 が心を一つにし、「世界の平和」を祈 ります。世界が抱える問題を気付かせ た役割は大きいと思います。

日本聖公会 聖アンデレ教会 東京都

6年間、様々なつながりの人と色々な 場で立ち上がりました。知り、考え、 語り合う機会に感謝。

大野 のどか 東京都

後援・協力していただいた組織や著名人の方々からの声

国連広報センターは 2006 年から日本での 「スタンド・アップ テイク・アクショ ン」に取り組み、「動く→動かす」と一緒にミレニアム開発目標 (MDGs) に ついて多くの方々に伝えてきました。その MDGs が今年、達成期限を迎え、 2015年以降に向けた新たなグローバル開発目標が生まれます。これからも皆 さんと共に、豊かさ、公平、自由、尊厳、そして平和が共存する世界を達成 していきたいと願っています。

.....

国連広報センター 所長 根本 かおる

リコーグループは、2008年から2014年までの7年間にわたり、累計2万4000 名が貧困解決のために立ち上がりました。この活動は、年数を重ねるごとに少 しずつ、でも確実に、社員一人ひとりに浸透していきました。MDGsの達成に向 けて企業として、そして個人として取り組むべきことを考える良いきっかけとなっ たと感じています。

株式会社リコー CSR 担当 小沼 美由紀

世界中のガールスカウトが MDGs の取り組みをするなかで、日本のガールス カウトは、このスタンド・アップを通して、自分たちが学んだことをアピールす ることができました。回を重ねるごとに参加グループが増え、全国各地で地域 の特徴を出す等の工夫している様子も見られました。何事も「継続する」ことは、 すばらしいことだと思いました。

公益社団法人ガールスカウト日本連盟

2012年10月17日に、外務省で行われた「STAND UP TAKE ACTION」キャ ンペーンイベントに参加させていただきました。榛葉賀津也・外務副大臣(当 時) をはじめ外務省職員約260人、実施団体である「動く→動かす」のスタッフ の方々、弓削昭子UNDP駐日代表 (当時) と一緒に、貧困解消のためにStand Up (立ちあがる) しました。全員で気持ちを一つにして、行動できる素晴らしい 機会となりました。

国連開発計画 (UNDP) 親善大使 紺野 美沙子

2013年に外務省の方々と一緒にスタンド・アップに参加し、新しい協力の形 を知りました。合宿などで度々訪れるフィリピンで、スラムの現実を見てきたこ ともあり、日本ではストップ結核チャンピオンとして活動させていただきました が、スタンド・アップでは、そのような深刻な問題の解決にたくさんの人たちの 力を集められ、一体感を感じることができました。

ボクシング世界三階級制覇王者 亀田 興毅

皆さんこんにちは。北澤豪です。私はJICAオフィシャルサポーターとして途上 国の現場を毎年訪問し、見たこと、感じたことを一人でも多くの皆さんに伝えら れるよう活動しています。そのような活動の中で「Stand Up Take Action」を 知り、たくさんの人とアクションしてきました。立ち上り『少し考えてみる』。と ても大切なことだと思います。

> 公益財団法人日本サッカー協会 理事・国際委員 JICAオフィシャルサポーター 北澤 豪



「国際ガールズ・デー」記念イ ベント スタンド・アップ テイ ク・アクション2012 ~ Girl's Impact -- ガールが世界を変え る~」にて(2012年 東京・国 連大学前)



株式会社リコー 応用電子研究所 (2013年宮城県)



ガールスカウト福岡県第23団 (2014年 福岡県)



外務省でのスタンド・アップ



外務省でのスタンド・アップ



グローバルフェスタ2014の ステージ 「北澤豪 Sports for Tomorrow~国際協力のステー でもスポーツの力~」にて

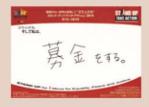
多くの方々が、 書き込みツールに自分の アクションを書いて 立ち上がりました



















10